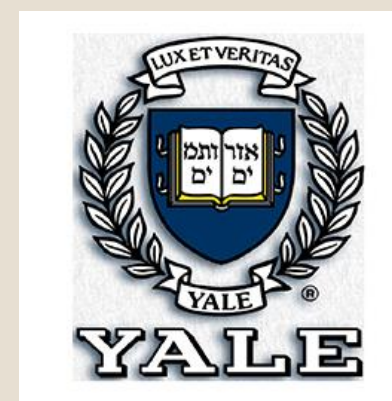
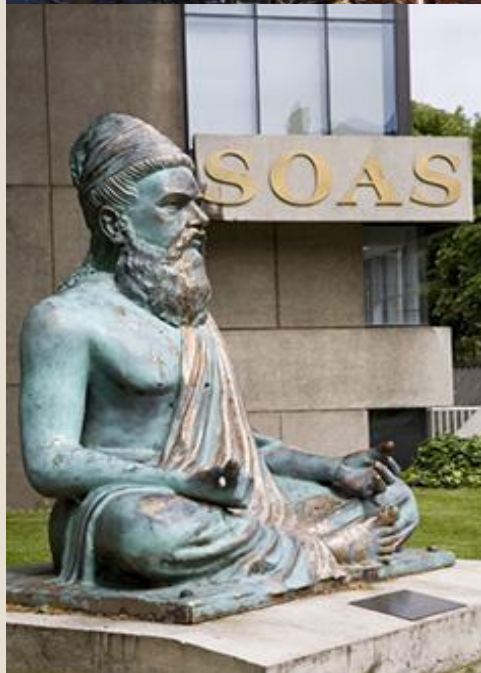


イギリスとアメリカにおける日本教育

Dr クリストファー・ガータイス
SOAS ロンドン大学





SOASの日本研究: 過去

- 1916年、はじめて日本語教育が行われた
- 第二次世界大戦中、軍隊での言語学習を通じて大きな飛躍を遂げる
- 1950年代～60年代の間、歴史学・近現代文学・政治科学の導入でさらなる拡大
- 1970年代～80年代には、経済学と社会学も加わる
- 1990年代以降、カルチュラル・スタディーズに興味を持つ学生が大きく増えたため、新たに人類学やフィルム・テレビ研究を取り入れた

SOASにおける日本研究: 現在

- 2016年、SOASには30人以上の研究者が在籍しており、ヨーロッパでもっとも広い研究分野をカバーしている
- 日本研究のコース:
人類学;美術・考古学; 演劇研究;経済学;地理学;歴史学;言語・文学;
法学;メディア研究;音楽研究;言語学;政治学;宗教・社会学
- 日本語クラスの年間受講者数は、およそ550人
- どの年もSOAS全学生の5人に1人が日本に関する授業を取っている

日本学を提供している大学

		BA	MA	PhD
	United Kingdom	15	15	11
	United States	366	299	189

- 1) 何を学ぶのか？
- 2) なぜ学ぶのか？
- 3) どんな影響を人生に与えるのか？

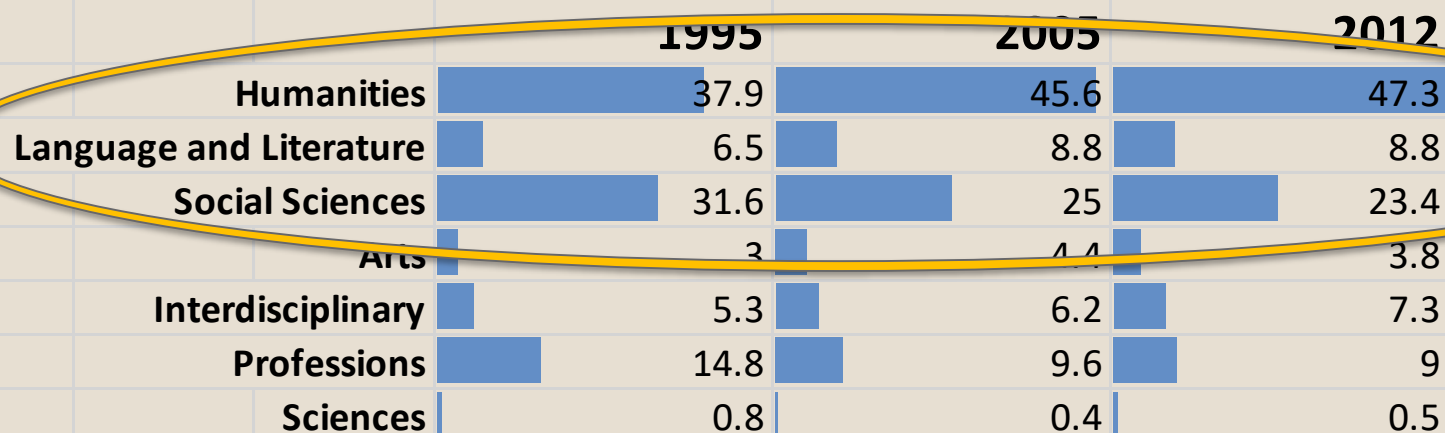
日本について何を学んでいるか？

もちろん、言語を学んでいる

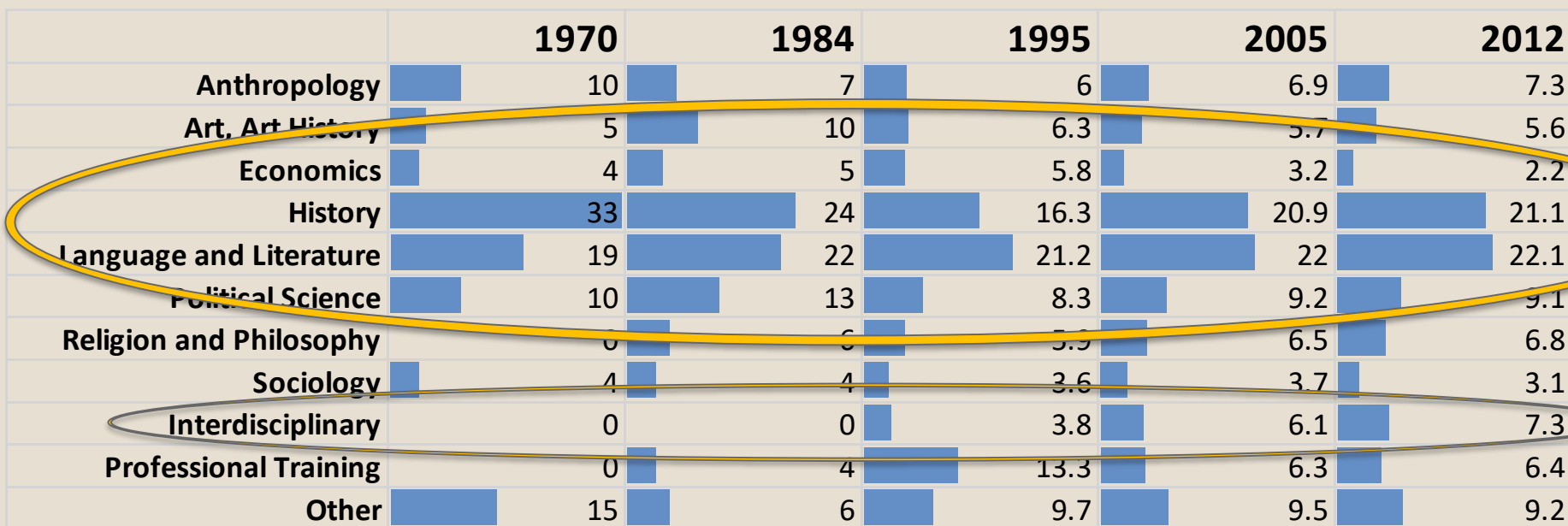
	Secondary		Tertiary		Total
	Total	Prop	Total	Prop	
United States	65,763	0.00021	63,225	0.00020	128,988
United Kingdom	5,624	0.00009	5,615	0.00009	11,239

しかし、言語以外も学んでいる

Japan Specialists by Discipline Cluster



科目ごとの専門家

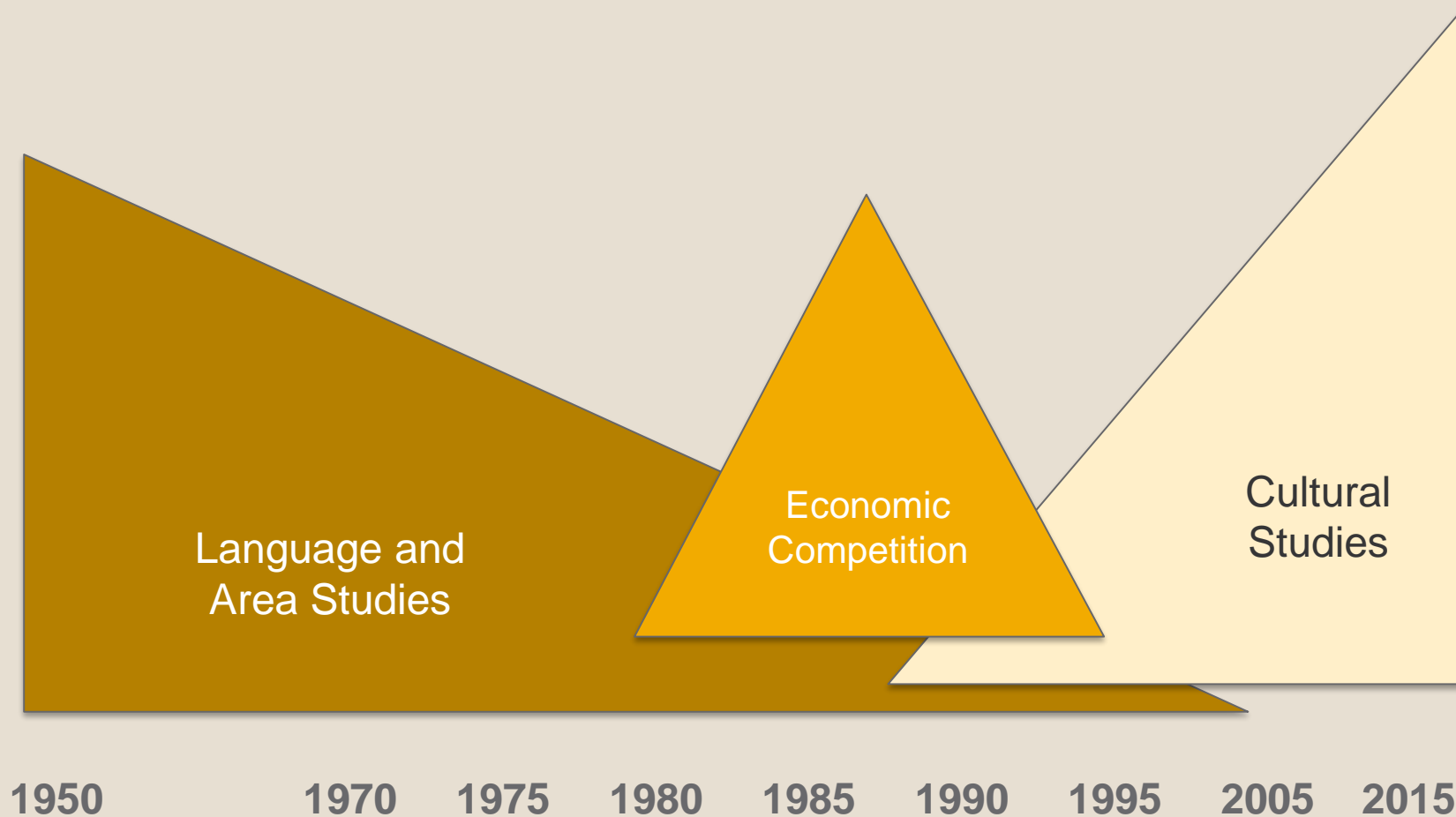


全学生の履修分布

	Exclusively on Japan	Multinational with Japan Content
Art History	3.7	0.7
Literature	5.3	1.2
Performing Arts	0.0	0.1
Religion-Philosophy	0.7	1.6
Anthropology	0.9	1
Economics	0.0	0.3
History	7.0	4
Political Science	0.5	1
Sociology	0.3	0.1
Business	0.1	0.1
Culture-Civilization	5.2	5
Linguistics	0.3	0.2
Film Studies	1.9	2
Women's Studies	0.0	0

なぜ日本について学ぶのか？

スタインホフのパラダイム



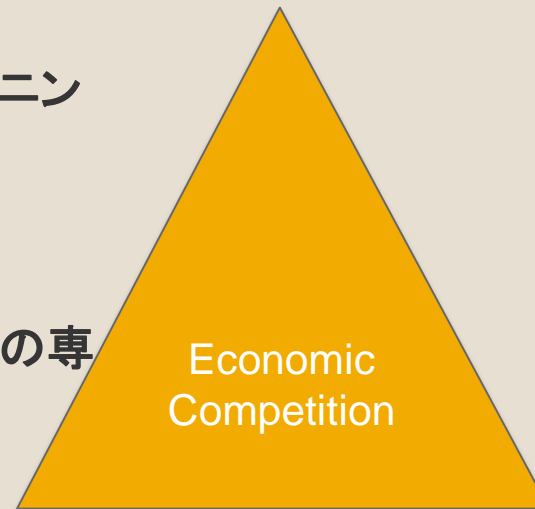
1980年以前

- 日本研究への二つの道:
 - a) 古典文化との接触
 - b) 兵役
- 様々な学問を通して日本を見つめるよう学ぶため、人文科学と社会科学の間で均等に分散する
- 履修数は少なかった
- 高いレベルの言語力と学問的専門性を獲得



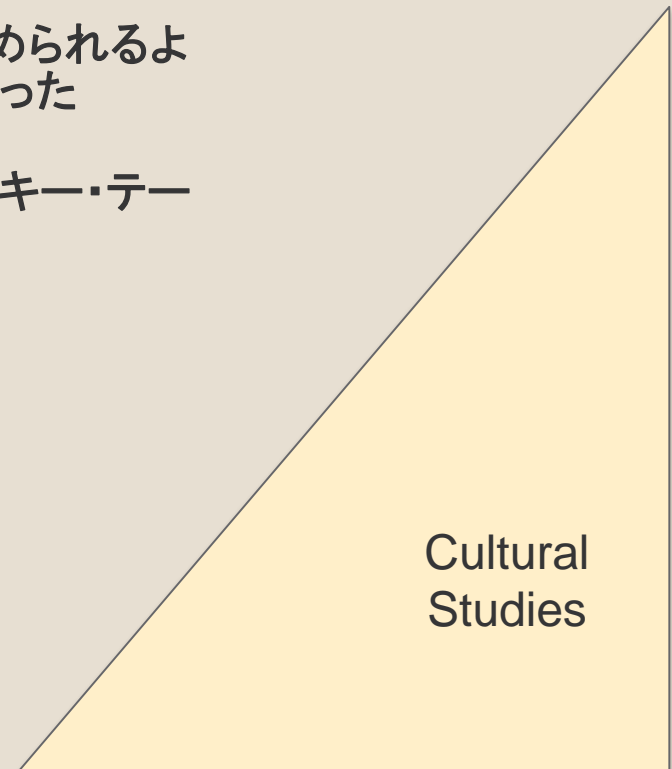
1980年 から 1995年

- 経済的に有益なものとして学生が日本研究に取り組むようになった
- 学生が、実利的に必要な知識を求めようになった
- 社会科学や専門職志向のトレーニング
- 短期間に学生が増えた
- 高いレベルの言語力と社会科学の専門性を獲得



1995年以降

- 言語と別に、学際的な科目を通じた研究が求められるようになる。日本語学習はもはや必修ではなくなった
- サブカルチャーやポップカルチャーが、研究のキー・テーマとなり、動機となる
- 重視されたのは応用の効く人文科学の分野
- 重視されなくなったのは社会科学の分野
- 3つの枠組みの中でもっとも学生が多い
- 言語習熟度は個人差が激しい
- 学問分野としての専門性が低くなった



1950 1970 1975 1980 1985 1990 1995 2005 2015

学生達の人生にどのような影響を与えるか？

日本との繋がりは一生モノ



高い生涯賃金

The Telegraph

8 Oct 2012

Graduate jobs: Top 10 degree subjects by lifetime salary



10. Japanese studies

Average lifetime salary: £36,437

Japanese was ranked as one of the [top 10 foreign languages to study](#) in a recent survey of UK employers' preferences. Those students who enrol in degree courses studying the language, as well as Japanese culture and literature, also perform extremely well on lifetime salary, averaging £36,437 from graduation through to the age of 65.

Perhaps surprisingly, this puts Japanese studies well ahead of subjects not on this list such as Law, which ranks 37th among degrees by lifetime salary – only 46 per cent of law grads will go on to become highly paid lawyers.

日本は世界への入り口だ



未来を見据えて

- 多くのアメリカとイギリスの大学は、日本研究者が退職しても後継を募集しない
- そのかわりに貿易拡大を見越して中国とインドの専門家を採用している（経済競争のパラダイム）
- 350以上のアメリカの大学では日本研究コースを提供しており、引き続き最大規模の日本研究の卒業生を輩出する見込み
- 2012年、23,245人のアメリカの学生が日本コースを受け、更に7,313人の学生が何らかの日本のコンテンツを含むコースを履修した
- アメリカとイギリスの学生の日本に関する授業への学生の要求はいまだに強い（カルチュラル・スタディーズのパラダイム）。
- アメリカでは多くの学生が日本研究を学んでいる一方、ロンドン日本協会の報告によれば、イギリスでは若者の間には潜在的に日本への関心は存在しているが、ほとんどの大学はそれに応じようとはしていない